



竹内滋泰
市政クラブ

森林保全と森林環境 譲与税の活用について

問 市が目指すべき森林の姿について伺う。

答 森林の水源涵養、山地災害防止、土壌保全及び生物多様性保全等の各機能を発揮するため、森林保護の取組を進めていきたい。

問 令和6年度から森林環境税が課税されることの背景や対象者等について伺う。

答 森林環境税は国内に住所のある個人に対して課税される国税である。市町村においては、個人住民税均等割と併せて1人年額1000円が徴収され、税収の全額が国によって森林環境譲与税として都道府県・市町村へ譲与される。税の使い道は、市町村においては「森林整備及びその促進に関する費用」に充

てること、とされている。

市の主なインフラ整備 について

問 市内で行われている高潮対策の見通しについて伺う。

答 漁港海岸にて現在施工中の、旧市民プール前のかさ上げ工事を引き続き行う。その他の区間についても早期整備に向け事業の進捗を図る予定である。

問 三谷公民館及び三谷漁港内のフラップゲート設置による効果等伺う。

答 ゲートを設置した2年度以降は、三谷公民館周辺の浸水被害は確認されていない。



中野香余
自民党市議員

災害時の避難所 について

問 避難所受付時に必要な避難所利用者登録票は、説明文が長く、記入する部分が多く混雑を招きやすい。また、福祉的配慮者への対応がしづらい。今後の改良について検討状況を伺う。

答 質問項目を、記述式からチェックボックス方式等に進めていきたい。チェックボックス方式であれば体調不良、介護及び福祉的配慮者が必要とする方にもいち早く気づき、安心して過ごしてもらえると考える。

雇用促進について

問 企業紹介パンフレットはどういった目的で作成し、どのように配布しているのか。



2023年度版 企業紹介パンフレット

答 市内に事業所を有する企業の情報を広く紹介し、市内外の企業同士のマッチング、学生のキャリア教育、企業の雇用確保の一助を目的としている。県内の全ての高校、専門学校・大学や、あいちUIJターン支援センター等の就職サポート施設等、県内外の約600か所に配布している。

問 企業紹介パンフレットの特集で「蒲郡で働く・輝く女性」を取りあげた目的を伺う。

答 「女性活躍の推進」に取り組んでいく中、若い女性の都市部流出防止、また企業の意識改革を促進する目的で特集記事とした。



牧野泰広
自由クラブ

サーキュラーシティ の考え方について

問 具体的なプロジェクトを示して参加企業を募り、コンソーシアム（共同事業体）を組んではどうか。

答 現在実施している提案型方式の実証実験プロジェクトのほか、コンソーシアムを組んでプロジェクトを進める必要性もあると考えている。併せて、産学官が一体となった推進組織を作る必要性も感じており、令和6年度に組織体制を構築していくための取組を本格化していく予定である。

問 プロジェクトの背景や課題、想定する推進体制等を整理して明示してはどうか。

答 コンソーシアムを組むことでプロジェクトの早期実施が可能となる。実施内容が明確

になるため、事業者と連携して国や県の補助金なども並行して考えていきたい。

ICT教育の検証 について

問 本市が目指すICT教育について伺う。

答 5年度に計画を見直し、重点項目に「タブレット端末の持ち帰り」を掲げた。児童生徒の情報活用能力を高めていくためにも、家庭学習や学校からの課題など、目的を明確にして持ち帰る機会を増やしていきたい。情報を正しく判断し、活用できる児童生徒の育成を目指し情報モラル教育を進めていく。



タブレット授業風景